

第10回 ESD大賞 募集要項

—Education For Sustainable Development Award—

Education For Sustainable Development (ESD) は、「持続可能な社会の担い手を育む」教育といわれています。持続可能な社会の構築に向けて的確な行動ができる次代を担う人材の育成が重要な課題となっています。

その人材育成のためには、ESD（持続可能な開発のための教育）が学校現場において正しく理解され、さらにそれに基づいた望ましい実践が普及されることが強く求められています。

NPO法人日本持続発展教育推進フォーラムでは、このESDの理念に基づく取り組みを積極的に実践する学校を奨励する「ESD大賞」を毎年実施しています。学校全体での取組み、地域社会とのつながり、地域の特色を活かすことを大事にした具体的な取組み、独自性のある取組み実践例などを広く募集いたします。

下記募集要項をよくお読みの上、奮ってご応募ください。

【主催】 NPO 法人日本持続発展教育推進フォーラム

【後援(予定)】 文部科学省、日本ユネスコ国内委員会、(株)教育新聞社、
(公財) ユネスコ・アジア文化センター、(公社) 日本ユネスコ協会連盟

【中央審査委員(予定)】

NPO 法人日本持続発展教育推進フォーラム 理事

佐野金吾（元全日本中学校長会会長、一般社団法人全国図書教材協議会相談役）

北 俊夫（一般財団法人総合初等教育研究所参与）

田村哲夫（前日本ユネスコ国内委員会会長、学校法人渋谷教育学園理事長）

濱野 清（文部科学省初等中等教育局視学官）

手島利夫（前江東区立八名川小学校校長、日本 ESD 学会副会長）

齋藤英行（株式会社教育新聞社代表取締役社長）

岡山慶子（朝日エルグループ会長）

文部科学省 国際統括官付

【募集内容と実践研究対象】

「ESD大賞」設定の趣旨に基づいて、持続可能な社会の構築に向けて的確な行動ができる次代を担う人材を育てる実践研究事例の報告を募ります。

○実践研究の対象

小学校、中学校、高等学校におけるESDの実践事例報告であること。

- ① ESDの全体計画や年間指導計画の作成、または改善及び評価に関わる実践研究。
- ② 各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間に関わるESDの実践研究。
- ③ 学校経営、学年経営、学級経営に関わるESDの実践研究。
- ④ 学級活動、児童会・生徒会活動、クラブ・部活動、学校行事に関わるESDの実践研究。
- ⑤ ESDにおける教材・教具の工夫や開発についての実践研究。
- ⑥ ESDにおける家庭、地域社会、行政、民間企業、関連する諸機関との連携に関する実践研究。
- ⑦ ユネスコスクールへの登録申請を検討している。

【対 象】

全国の小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、小中一貫校、特別支援学校を対象とします。

【応募方法】

- 1) 応募フォーマットに必要事項を記入してください。
- 2) 実践研究の内容やねらいがわかる資料（年間指導計画、学習指導案、教材、活動写真）を同封してください。ただし、A4判で5頁以内。
- 3) 上記資料をE-mail、郵送（CD-R等）のいずれかでお送りください。応募資料は返却致しません。
※一太郎のソフトをお使いの場合は、必ず画像を別ファイルで（JPEG、bmp、GIF、PNG）お送りください。

【資料送付先・事務局】

NPO 法人日本持続発展教育推進フォーラム ESD 大賞 事務局
〒104-0045 東京都中央区築地 2-12-10 築地 MF ビル 26 号館 5 階
TEL : 03-3545-3651 FAX : 03-5565-4914 e-mail:info@jp-esd.org
担当：三枝・高木

【スケジュール(予定)】

9月23日（月）〆切（事務局必着）

↓審査

10月下旬 発表は、事務局から受賞校へのご連絡をもって代えさせていただきます

↓

11月30日（土）第11回ユネスコスクール全国大会/ESD研究大会にて授賞式を行います

【教材の作成と配布（予定）】

受賞校には、実践研究事例の詳細を執筆していただき（B5判で各校3～5頁）、冊子にまとめ、ESDの優れた教材として、ユネスコスクールをはじめ、ESDに興味をもつ学校に配布する予定です。

[顕彰]

応募いただいた事例の中から、中央審査委員の厳正な審査によって、優秀な事例を下記の通り顕彰いたします。

<u>・文部科学大臣賞</u>	<u>1校（すべての校種を対象）</u>
・ユネスコスクール最優秀賞	1校（ユネスコスクールのみ対象）
・小学校賞	1校
・中学校賞	1校
・高等学校賞	1校
*ベスト・アクティビティ賞	1校
*スタートアップ賞	1校

*「ベスト・アクティビティ賞」とは

学校や地域の特性を生かしたオリジナリティのある活動、他の学校にも生かせるアイデアに富んだ取組を（一つでも）行っている学校に対して賞を贈ります。学校全体・教科横断等の広がりはこれから、という学校でも積極的にご応募ください。

*「スタートアップ賞」とは

ユネスコスクール加盟3年未満（加盟していない学校を含む）の学校のみを対象とします。現在の成果や実績よりも、活動内容や今後への期待を評価の重点ポイントとします。

[第9回 ESD 大賞受賞校とテーマ]

文部科学大臣賞	宮城県気仙沼高等学校	グローバルな視点による問題解決型の国際理解学習や学びを行動につなげる地域と連携した学習活動
ユネスコスクール最優秀賞	宮城県多賀城高等学校	ESDを視点とした科目「災害科学科」を設け、持続可能な未来の創造者を育成する防災・減災学習
小学校賞	徳島県上板町立高志小学校	SDGsへの挑戦～エシカル消費を通しての地域活性化プロジェクト～
中学校賞	大阪府寝屋川市立第十中学校	自分を大切に、ひとを大切に、未来を大切にできる生徒の育成をめざしたカリキュラムの再構築
高等学校賞	和歌山県立田辺高等学校	外国人の多い街を活かしたフィールドワークやプレゼンテーションなどの教科指導と課外活動
ベスト・アクティビティ賞	三重中学校・高等学校	郷土が生んだ偉人松浦武四郎の生き方を通して多様な人々が共生できる社会や持続可能な産業のあり方を考える教育活動
スタートアップ賞	神奈川県横浜市立日枝小学校	ESDの視点で地域の環境問題を教育課程に位置付け、地域の方々とともに考え、行動していく教育活動